

(仮称)四万十市新食肉センター建替工事 実施設計・施工一括発注プロポーザル 技術提案書等評価要領

(仮称)四万十市新食肉センター建替工事实施設計・施工一括発注プロポーザル技術提案書評価要領(以下「本評価要領」という。)は、本プロポーザルにおける技術提案書審査の評価方法について記載したものであり、四万十市新食肉センター建替工事選考委員会(以下「選考委員会」という。)において、本評価要領に基づき評価を行い、最優秀者及び優秀者を各1名選考するものである。

1 評価方法

本評価方法は、選考委員会委員が評価項目ごとに評価を行い、各委員の評価点と価格提案の評価点の合計点を提案者の評価点とし、最高得点を最優秀者に、次点を優秀者に決定する。

なお、提案者の評価点が720点に満たない場合は、受注候補者として選定しない。

2 評価項目と評価点の配点

評価点は、1,200点満点とし、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとする。

- (1) 業務の実施方針 120点
- (2) 技術提案 480点 (144点×2テーマ、96点×2テーマ)
- (3) 価格提案 600点

3 評価項目ごとの評価判断基準と各委員の評価

(1) 業務の実施方針

業務の実施方針の評価点は120点満点(20点×6人)とし、次の判断基準の項目ごとに5段階評価で評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
業務計画の的確性、妥当性、実現性、独創性	①業務を実施する上での課題把握の的確性 ②実施方針の的確性、実現性、独創性 ③実施体制の的確性、妥当性 ④要求水準確保のための考え方、手段の妥当性、実現性、独創性	特に優れている	5
		優れている	4
		標準	3
		標準にやや及ばない	2
		標準には及ばない	1

(2) 技術提案

技術提案の評価点は、4つのテーマごとに評価点を算出する。

評価点は、テーマ1及び2は144点満点(24点×6人)、テーマ3及び4は96点満点(16点×6人)とし、次の判断基準の項目ごとに5段階評価で評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点		
		テーマ1 及び テーマ2	テーマ3 及び テーマ4	
テーマの理解度 テーマに対する提案の 的確性、独創性、実現性	設定したテーマごとの提案に対して ①テーマを理解しているか（理解度） ②課題把握が的確か（的確性） ③新たな取組やアイデアであるか（独創性） ④提案内容が実現可能な内容か（実現性）	特に優れている	6	4
		優れている	4.5	3
		標準	3.0	2
		標準にやや及ばない	1.5	1
		標準には及ばない	0	0

■ 技術提案（テーマ）

【テーマⅠ】 主要プラント機器等の運転・維持管理に関する方策

（１） 効率的な運営ができる食肉センター

基本設計に沿った具体的なシステム構成及び特徴が提案されているか。

（２） 持続可能な食肉センター

作業性や整備後の維持管理、アフターサービスの考え方、工夫が提案されているか。

【テーマⅡ】 工期短縮方法及び稼働への配慮

（１） 工期短縮方法

限られた敷地の中でのローリング計画での工事のため、工期短縮を考慮した計画が記載されているか。

（２） 稼働への配慮

限られた敷地の中で操業しながらの建替え工事のため、工事中の既存食肉センターの運営、新食肉センター運営時の利用しやすさを考慮した計画が記載されているか。

【テーマⅢ】 VE提案

（１） 建設工事費上昇への対策

令和6年度となり、昨今の建設工事費について物価高騰や工事費及び労務費の上昇について発注者として苦慮しているが、これらに対する事業者としての知見や方策についての提案がされているか。

(2) 全体事業費のコントロール方策

長期に渡る事業を遂行するにあたり費用項目の潜在化が課題となる。建設工事費以外の項目コントロールが重要だと考えているが、これに対する事業者としての知見や方策についての提案がされているか。

【テーマⅣ】地域貢献

(1) 地元業者（四万十市内）の活用

(仮称)四万十市新食肉センター建替工事において、地元業者の活用を考慮しているか。

(2) 県内地域振興・地域経済への貢献

(仮称)四万十市新食肉センター建替工事を通して、より多くの関係者に関わっていただくための知見や方策についての提案がされているか。

(3) 価格提案

参加者の中で、最低見積金額を提出した者の評価点を600点とし、他参加者の評価点Aは、次の算式で算出する。

$$(\text{最低見積金額} / \text{提案見積金額}) \times 600 = A \text{ (小数点 第二位 以下切捨て)}$$

以 上